

## ～心電図では異常がなかったけど、 症状も大事なサインです！！～

心臓の病気は、心電図所見の異常、動悸、息切れ、だるさ以外に、一見、心臓の病気のように見えなくても病気が潜んでいる場合があります。

**患部と違ったところが痛む「放散痛」に気をつけよう！**

「痛みというのは、必ずしも患部の周りで感じるとは限りません。心臓の場合も、胸に痛みを感じる以外に、胃が痛むこともあります。このように、悪化した部位とは違うところに現れる痛みを「放散痛」と呼びます。

**心臓病が疑われシグナル**→胸の痛み、息切れ、動悸、手足の痺れ、脱力  
みぞおちの痛み、肩こり、吐き気、  
冷や汗などを伴う

**心臓病の可能性もある放散痛**

→喉にご飯が詰まったような感じ（異物感） 下顎の感覚が鈍くなる  
感じ 左の奥歯の痛み 背中の痛み 首筋の筋肉痛 胃の痛み

※心臓病発症の3日～1週間前には何らかの不調を感じている人がいる  
ことも心筋梗塞経験者の話からわかっています。

※放散痛はわかりにくに症状ですが、上記のような症状が心臓の病気につ  
ながっていれば、**血圧や脈に変化**があります。心臓病が疑われる症  
状と合わせて脈拍・血圧の変化を確認することが大切です。

① **「普段と少し様子が違う」**と感じたら、「循環器内科」で相談しましょう！

心臓病を起こしやすい人は、内臓型肥満を伴うメタボリック症候  
群・糖尿病境界型です。

健診で引っかかっている人（ちょっと小太り、ちょっと血糖値が高  
い、ちょっと血圧が高い、ちょっと心電図に異常がある）は、特に上  
記症状が出たら、ためらわずに受診して命を守りましょう。

② **お薬手帳の場所は、普段から家族みんなに知らせておきましょう。**

**いざという時に「お薬手帳」**があれば、搬送先の病院で使えない薬がな  
いか、すぐに判断できます。普段からお薬手帳は1冊にまとめておきま  
しょう。